

9月・10月 開館カレンダー

北千里児童センター							休館日
9月							10月
日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	1
8	9	10	11	12	13	14	2
15	16	17	18	19	20	21	3
22	23	24	25	26	27	28	4
29	30						5

北千里地区公民館							休館日
9月							10月
日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	1
8	9	10	11	12	13	14	2
15	16	17	18	19	20	21	3
22	23	24	25	26	27	28	4
29	30						5

北千里図書館							休館日
9月							10月
日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	1
8	9	10	11	12	13	14	2
15	16	17	18	19	20	21	3
22	23	24	25	26	27	28	4
29	30						5

※9月25日(水)、26日(木)はシステム休館日です。

北千里児童センター	午前10時～午後6時
休館日	年末年始・施設点検などによる臨時休館あり
北千里地区公民館	午前10時～午後10時
休館日	毎週火曜日 祝日の翌日 年末年始
北千里図書館	午前10時～午後8時
休館日	毎月最終火曜日 年末年始 特別整理休館日
最寄駅	阪急電鉄千里線「北千里駅」徒歩3分 阪急バス「阪急北千里駅」徒歩3分

Event Information

シニアのためのお役立ち講座
～高齢者が備えて安心
スッキリする3つのポイント～

日 時：9/8(日)14:00-15:30(開場13:30)
場 所：2階 会議室1-3
定 員：80名 ※先着順
申 込：不要

限りある人生をイキイキ・ワクワク暮らす
ために「住まい」「お金」「家族(引き継ぎ)」についてお話しします。ご自身・ご家族
の老後の備えについて一緒に学びましょう。
講師/石井英彦氏(株式会社カラフル代表取締役) 協力/津雲台・藤白台地域包括支援センター

オレンジ色のランタンを作ろう！
～図書館で認知症についての
話を聞いてみよう～

日 時：9/14(土)14:00-16:00
場 所：2階 会議室5
定 員：小学4～6年生 10名 ※先着順
申 込：申込フォーム・電話
持 ち 物：大きめの筆
受付期間：8/10(土)～



申込フォーム

14:00～14:45 認知症キッズサポーター
養成講座 講師/中村公氏

15:00～16:00 ランタン作り
協力/古江台青山地域包括支援センター

夕涼み朗読会

日 時：9/28(土) 18:30-19:15
場 所：1階 テラス
定 員：18歳以上 10名 ※先着順
(子どもは保護者の同伴があれば参加可)
申 込：申込フォーム・電話
受付期間：9/4(水) 9:30～
図書館スタッフがセレクトした
お話を朗読します。秋の虫の音をBGMに、
一緒に物語の世界を楽しみましょう♪



申込フォーム

＼まちなかりビング北千里ニュースレター／

MACHIKITA DAYS

9月号

北千里の「時」と「人」をむすぶ 開かれた暮らしの中の交流拠点

2024/9/1発行



今月の表紙「LOVE & PEACEでいこう！」

まちきたのYA世代

まちきたの「学び人」の哲学に迫る わたしの学び哲学／

消しゴムはんこのイベントでご協力くださる

はんこの豆屋 石川一美 さん

まちきた図書館員の偏愛本棚／スポーツ小説



まちなかりビング北千里

〒565-0874 大阪府吹田市古江台3丁目8番1号

代表電話・北千里地区公民館
北千里児童センター
北千里図書館
指定管理者 TRC北千里共同事業体

電話 06-6834-2921 FAX 06-6155-8278
電話 06-6833-6211 FAX 06-6155-8122
電話 06-6834-2922 FAX 06-6834-2944
電話 06-6155-8277

URL: <https://machikita.jp> Instagram: @machikita.jp



WEB SITE



Instagram

MACHIKITA DAYS 9月号(2024年9月1日発行) 編集発行：指定管理者 TRC北千里共同事業体

この冊子は400部作成し、1部当たりの単価は20.4円です。

まちきたのYA世代

YA【ヤングアダルト／ワイエー】

アメリカで使われ始めた言葉で、「若い大人」「大人になりつつある人」のこと。（参考・YA出版会）

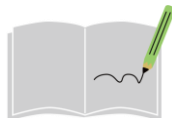
まちきたをよくご利用いただいているYA世代（12歳～18歳くらい）の皆さまについて知りたいと思い、今回アンケートをとらせていただきました。写真撮影・アンケート回答を快く引き受けてくれたYA世代の方々、ご協力いただきありがとうございました！



39名の方にご回答いただきました。



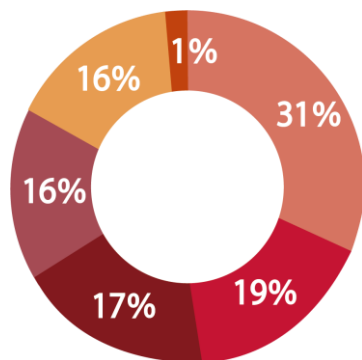
まちきたには
どのような目的で、
どれくらいの頻度で来られますか？



目的はなんと!!

回答者全員

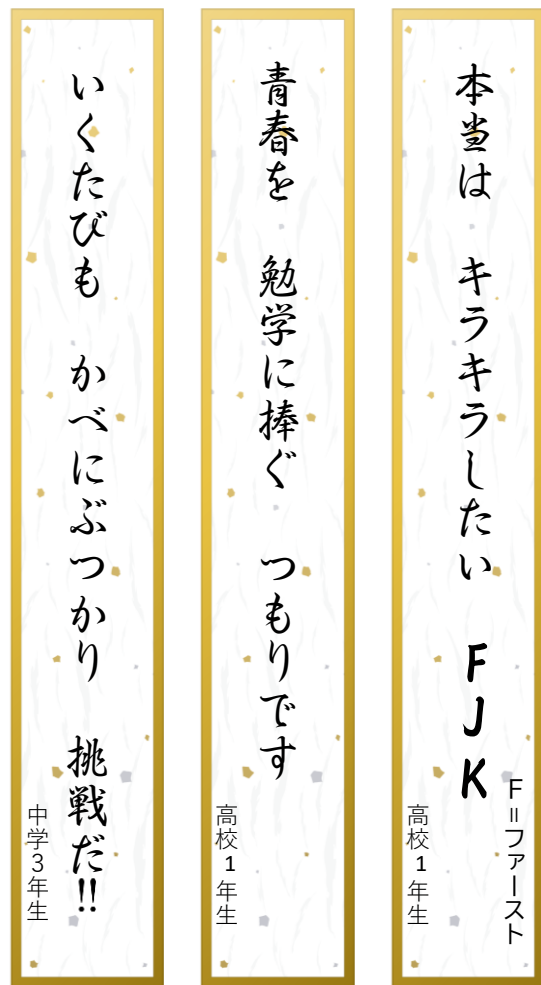
勉強!!



月1 2か月に1回
週2・3 週に1回
ほぼ毎日 その他



今の気持ちを
川柳で表現してください。



休日の過ごし方は？



勉強

圧倒的1位は勉強でした。



お昼寝

その他の回答

・映画鑑賞 ・読書
・ゲーム ・友人と遊ぶ
・山登り ・サイクリング
・ウォーキング など



部活



マイブームは何ですか？



スポーツ

その他の回答

・推し活 ・YouTubeを見る
・お菓子作り ・麻雀
・スポーツ観戦 ・スマホのゲーム
・ガチャガチャのミニチュア集め
・ダイエット など



音楽鑑賞



読書
食べること



まちきたの「学び人」の哲学に迫る 「わたしの学び哲学」

【File13】 はんこの豆屋

石川 一美さん



■ 消しゴムはんこの出会いを教えてください

昔から版画が好きでした。紙に写し取られて生まれる線の温かみやかすれ、多版刷りの色のなんともいえない重なりやずれに「萌え」を感じる小学生でした。消しゴムはんこのワークショップで、初めて消しゴムを彫った時の感触！「これだー！」とその柔らかさに感激して今に至ります。

■ 消しゴムはんこの魅力は何ですか

実際に手で描いた絵と消しゴムはんことして彫って押した絵では、良い意味で期待を裏切られるのが楽しいです。表情がユーモラスになったり、出来上がりの予測がつかないところが魅力です。色を変えたり、沢山並べたり、モチーフを組み合わせたり。色んな使い方ができるのが本当に楽しいです。はんこの使い方、いろいろ聞いて下さい！

11月のオータムフェスタで消しゴムはんこのイベントでご協力くださる
はんこの豆屋 石川一美さんの「学び哲学」に迫ります！

■ 人とコミュニケーションをとる時に心がけていることは何ですか

「良いひととき」を共有したいと思って過ごしています。お仕事でも、プライベートでも一緒にする方にはいい余韻が残るような、楽しかったと思ってもらえるよう心がけています。また、言葉を大切に扱いたいと思っています。人の長所、短所は紙一重だったりするので、伝える時に使う言葉で大きく印象が変わる気がします。

■ 今後の夢や目標、挑戦してみたいことは何ですか

海外の道端ではんこを彫って、道行く人たちに「Oh! Amazing!」と言われてみたいです（笑）一緒に笑いたいです。また、自転車の荷台に紙芝居の舞台を積んで、公園で紙芝居屋さんもしてみたいです。以前、幼稚園の先生をしていました。お子さんが本の世界に入り込んでいる時の表情が大好きです。あの表情はもう、なんとも言えない多幸感がありますね。ピリッとします。

■ おすすめの本を教えてください

私のおすすめの本は「子どものころにふれる整体的子育て」です。整体的、と書いてありますが、育てる側（親）の頭も身体も忙しく、余裕が持てない時にふっと立ち止まって、深呼吸させてもらえる本でした。身体と心がダイレクトにつながっている子どもの時期だからこそ反応してありますよね。この本は私にとって、子どもの身体と心の代弁者的な本で、気付かされることがたくさんありました。



子どものころにふれる整体的子育て
山上 亮/著 クレヨンハウス
※現在は版元品切ですが、吹田市内の図書館に所蔵があります。

まちきた図書館員の偏愛本棚

北千里図書館の図書館員たちが「本当に好きな本」「読んで欲しい本」を毎月紹介し、読者のみなさまをまだ見ぬ読書の世界へと誘うコーナーです。今年にはオリンピックイヤー。未だオリンピックの興奮冷めやらぬ方もいるでしょう。今回はスポーツ小説をご紹介します！すべての本は吹田市内の図書館に所蔵しています。



今月のテーマ：スポーツ小説

01

流鏑馬ガール！

相戸結衣 / 著 ポプラ社

流鏑馬に挑む女子高生の青春

青森県十和田市で**流鏑馬**（やぶさめ）に挑む2人の高校生の青春物語。過去のトラウマから流鏑馬をやめた舞衣子と舞衣子に憧れ東京からやってきた美鶴。それぞれが悩みながらも、懸命に流鏑馬に打ち込む姿に胸が熱くなります。この競技について知らない人にも、ぜひ手に取ってほしい1冊です。



02

勇者たちへの伝言

増山実 / 著 角川春樹事務所

プロ野球を愛する人に読んでほしい

西宮球場、北朝鮮を舞台に今はなき球団、阪急ブレーブスを取り巻く人々の人生が語られています。プロ**野球**の本というと、技術やデータ分析、選手個人の回想などが多いですが、こちらは純文学の感動作。意外な展開もあり、勇気がほしい人、チャレンジしようと思っている人におすすめします。



03

あざみ野高校女子送球部！

小瀬木麻美 / 著 ポプラ社

団体競技の魅力が詰まった1冊

マイナースポーツ、球技界の格闘技とも言われる**ハンドボール**を描いた稀有な小説。高校からハンドボールに転向した主人公が、チームプレーの楽しさを思い出し、仲間を信じて共に成長して行く姿にグッときます。読むとハンドボールの試合を観戦したくなります！

